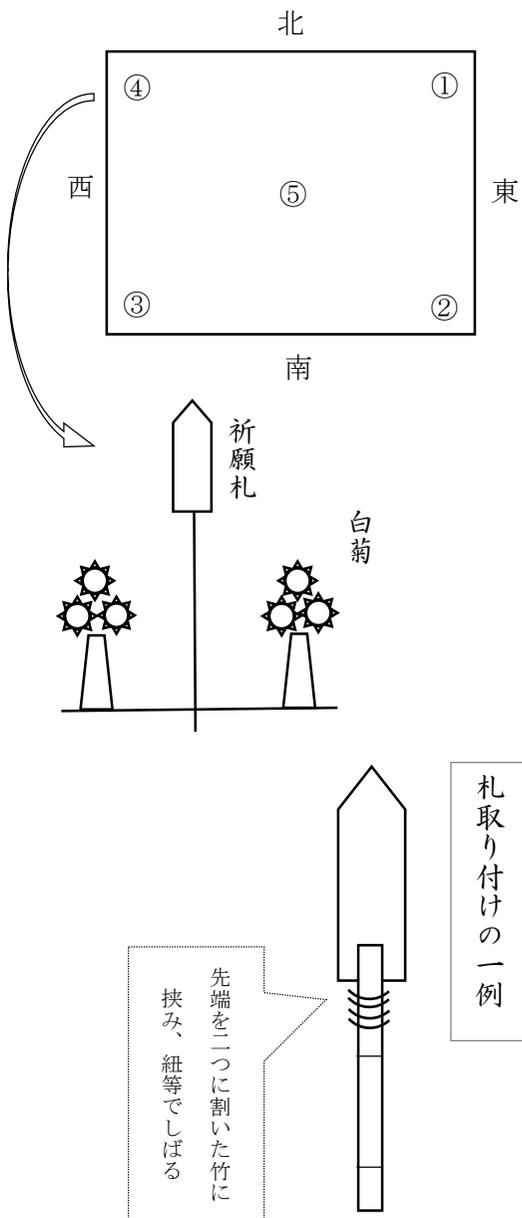


◎お供え物の埋め方



まず右図のように、屋敷の四方(①〜④)と中央(⑤)に、基礎工事で掘り起こさない場所を選び、土地に深さ三十センチ程度(基礎の深さに応じて)の穴を掘る。

次に、①〜⑤の穴の脇にロウソク・線香を立てる。供物を番号順に、**塩**↓**水**↓**昆布**↓**椎茸**↓**酒**↓**米**↓**小豆**の順に入れる。□で囲った品は、一か所につき三度に分けて入れること。なお、供物を穴に入れるときは「**おん**(オン)」と唱えて入れる。(※帰命するということ)

お供え物を穴に入れ終わってから、工事安全・家内安全を祈る。その後に、穴の中の供物に半紙をのせて、掘り起こした土をかぶせて埋める。※浄砂が用意できれば、それで埋めるとよい。

最後に、祈禱札を北西の角(④)に立てる。高さは二メートル程度が望ましい。正面は中央に向けること。祈禱札は雨に濡れないようにビニールで包む。竹などで挟むとよい。白菊を一对、倒れないよう留意して札の前に立てる。

祈禱札は上棟の際に棟木(屋根の頂点の骨組み材)に取り付ける。白菊は枯れるまで供え、その後は処分してもよい。

リフォーム等、中央(⑤)が掘れない場合は①と④の間(北)に、⑤の穴を掘って供えること。また穴が五箇所取れない場合は、出来る限り土地の神にお供えする形で工夫すること。

以上

奈良県五條市犬飼町一二四

犬飼山轉法輪寺

☎ 〇七四七・二二・四四〇三

FAX 〇七四七・二五・四七一七